

● 会館を使い始めました。床暖房は足元が冷えないのでとても暖かく感じられるようです。スカウトの行事に利用いたしました。ご法事のお斎に使いたいとの予約も何件かありました。いろんな集まりに積極的にご利用いただけるといいと思います。

● 2月12日に「ヒカリスカウトのつどい」として、いじめ問題についての講演会をおこないました。本光寺の名前を出すと、教育委員会の後援をもらえませんでしたので、本光寺の行事といたしませんでしたが、お子さんの子育て中の方にはぜひ参加していただきたかったつどいでした。概要をお知らせいたします。

● 2007(平成19)年2月12日(月曜・休日)に本光寺門徒会館を会場に、午後1時30分よりおこないました。参加者は主催者側16名、大人の一般参加者が22名、子供の参加者がスカウトを含め42名ほどでした。開会式を全員で行いました。

おとなの参加者は講師 佐藤公文先生(会津高校教諭)より「いじめについてー問題解決のもうひとつの道一」というテーマで講演をいただきました。先生はモデル事例を基に 原因を追究することの問題点を指摘、事例を分析、悪循環のサイクルを変える方法を提示していただきました。それは



- ① 難しいところには手をつけない
- ② これまでやったことがないことをする
- ③ 毎日できる小さくて簡単なことをする
- ④ 2週間続けてやってみる、だめだったらやめる
- ⑤ なるべくやって楽しいことをする
- ⑥ いい変化だけを見る

ということでした。1時間40分ほどの講演をいただきました。

子供の参加者(中学生から小学校入学前まで)は別室に移動し、6人のリーダーとともにゲームや話し合いを行いました。まずある程度年齢別に6組に分かれ、小さい子供のグループには若いリーダーが入ります。ゲームなどで初めての子供の緊張をほぐし、仲良くなったところで話し合いを始めます。「なぜいじめがあるか」「いじめをふせぐにはどうすればいいか」という二つのテーマで話し合いました。1時間ほどの話し合いののち会場を掃除し、講演会会場に戻りました。

仏壮例会のお知らせ

2月27日(火)

午後7時より

会費 2000円

出欠は同封のはがきか

国分会長(Tel: 27-8066)

に連絡をしてください



机をかたづけ、子供たちはまとまって座り、周りに大人が座ります。まずこどもたちより、組ごとに代表が話し合いの内容を発表しました。

「なぜいじめがあるか」

弱い人がいるから。みんなとちがうところがあるから。悪口を言うから。自己中で周りの人の気持ちを考えられないから。暗い、皆にとけこめない。人にあわせることができない。男女トラブル。頭の悪い人や、太っている人はいじめられやすい。思い込みの人がいる。けんかとからかうのといじめの区別がわからない。ふざけていたらエスカレートした。好き嫌いがあるから。

(こないじめがあった)

仲間はずれ。殴られた。首絞められた。靴を隠された。陰口を言われた。話しかけたら無視された。全部とられた。人のせいにされた。鬼を勝手に決められた。絵が下手だといわれた。連絡帳をとられた。

「いじめをふせぐにはどうすればいいか」

信頼できる人に話す。いじめている人に原因を聞く。気にしない。先生に話す。クラスの人数が少ないのであまりいじめはない。開き直るのが早い。いじめている人がいじめられてる人のことを考える。個性・性格を尊重しあう。お互いの良いところを知る。悪いところを直す。
などでした。



さらにフリートーキングの時間を設け、意見質問なんでも話を出してもらいました。あるお母さんから「子供が言わない学校のいじめを親はどういう方法で知ればいいのか」という

質問が出ました。「子供がいうまで待つことです、前のことまで聞き出さない。お母さんも子供のことばかり考えないで、自分の楽しみを持って…」など返答がありました。

こどもたちからも質問が出ました。「ふざけているのといじめているのは、どこからがいじめになるのかわからない」「境目はよくわかりません」「みんなが楽しければいいけど、いやだなと思う人がいればいじめじゃないの」

もう少し意見を出していただきたかったのですが時間がなくなってきたので、ボーイスカウトの団委員長が終わりの挨拶をし、閉会いたしました。当初予定の時刻を過ぎ、終了したのは4時でした。



●いかがでしょうか、子供の間のいじめが今社会問題だとしてマスコミにとりあげられていますが、大人社会にも多くのいじめがあります。昔からいじめはありました。いじめをなくそうという論調がありますが、なくすのは本当に可能なのでしょうか。どうすることが可能なのか、私たちも考えていかなければならない問題だと思います。